



	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		スペースについては、国の定める基準では児童一人当たり2.47㎡となっており、基準以上のスペースが確保されております。また、療育と余暇の場をパーテーション等で区切る事で、空間を分ける工夫をおこなっております。	引き続き感染症対策をおこなっていきながら、ソーシャルディスタンスが十分に測れる環境で活動してまいります。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		国の基準では、1つの事業所に児童発達支援管理責任者・管理者を1名以上配置し、職員数は児童10名までに2人、それ以上の児童が利用する際には児童5名につき職員を1人ずつ増員するよう定められており、基準配置以上の職員がおります。情緒面・学習面等、多方面から考え個々に合わせて療育をおこなっております。	今後も法令の基準を遵守した上で利用児童数に合わせて職員を適切に配置できるように努めてまいります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構成された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		児童の特性に応じた環境作りを心掛け、分かりやすい生活導線や、玄関の段差も低くして上がりやすいよう工夫しておこなっております。	今後も利用する児童たちの活動や支障に支障のないよう適切な環境を整備してまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		療育前には必ず手洗い・消毒をおこない、室内の換気も常におこなっております。また、その都度活動内容に合わせた空間作りをおこなっております。	今後も心地よい空間と清潔な環境を保ち、感染症対策にも心掛けてまいります。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		必要に応じてパーテーションを使用し、個別の空間を作っております。また、畑やビニールハウス等外へ移動を促し、気分転換を図る工夫をしております。	今後も必要に応じて児童たちに必要な対応をおこなってまいります。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		定期的に職員会議を開催し、常勤・非常勤を含め全員が参加して日々課題や改善点について話し合いをおこなっております。	職員の勤務時間や勤務に合わせた日時などを調整して話し合いの場を設けてまいります。また、職員全員が会議内容を把握できるように今後も会議録を作成して情報共有してまいります。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		契約の際など自己評価につながる内容の説明は十分におこなってまいります。また、保護者様が気になることを話しやすい関係や雰囲気を作りながら努めてまいります。	ご相談があった場合は職員間で情報共有し、対応を検討してまいります。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		職員間同士で発言しやすい環境づくりを意識し、業務改善に努めてまいります。	今後も職員間で出た意見を業務改善に繋げられるよう、努めてまいります。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7		現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		社内にあるオンライン動画を用いて研修をおこない、資質の向上に努めてまいります。	今後も事業所内研修を継続し、研修に努め職員一人ひとりの専門性を高めてまいります。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		公式Webサイトに公表しております。	今後も公式Webサイトに公表してまいります。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		社内で統一されたアセスメントシートを用いて一人一人にあった計画を立案しております。	今後も半年ごとにアセスメントをおこないモニタリングと共にその都度、支援計画の見直しをおこなってまいります。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		計画作成時に限らず、児童の近況や療育内容など、情報共有や検討をおこなっております。	今後も児童発達支援管理責任者だけでなく、児童の最善の利益を考慮した検討を続けてまいります。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		児童発達支援計画に沿った支援をおこなわれるよう職員間で共通認識を図り、支援をおこなっております。	今後も支援計画に沿った支援をおこなわれるように努めてまいります。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含む非フォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		使用する書式を統一し、年齢、特性に合わせたアセスメントツールを使用しております。	今後も前回の計画からの変化をアセスメントをおこなう中で把握してながら児童たちの成長に合わせてまいります。その都度反応できるように職員で情報共有をおこなってまいります。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域連携・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		保護者様と児童のニーズを汲み取り、それぞれに合った支援をガイドラインに沿って計画の立案をおこなっております。	今後も計画の見直しの際には保護者様と児童の現状とニーズを十分に把握し、必要に応じて具体的な支援内容を提案してまいります。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		活動内容は個別支援計画をもとに職員がチームとなって協議しながら立案しております。	今後も全員で考え立案し、アイデアを生かした内容をチームで組み立ててまいります。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		職員全員で意見を交換し、固定化しないよう工夫しております。	年間計画や季節ごとのプログラム、その年の時事なども取り入れるよう工夫して、利用児童にあった活動を心掛けてまいります。
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		個別活動だけでなく、集団療育もおこない、児童の発達状況や保護者様のニーズに合わせた支援計画を作成しております。	今後も引き続き、個々の状況に合わせて活動内容を計画・実施してまいります。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		支援開始前には前回の様子や気づきを職員間で共有し支援に繋げております。	今後もその日の支援内容について、保育士や教員経験者等の意見を踏まえて話し合い、支援の内容・担当を決めてまいります。
	21 支援終了後は、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	7		その日の気づきや変わったことがあれば職員間で話し合いや振り返りをおこなっております。	確実に情報共有できるよう、支援終了後に気づきや成長を職員間で話し合います。また、記録を残し全員に周知できるようにしてまいります。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		利用の都度必ず記録を残り、気づいた内容を共有、確認できるようにおこなっております。	今後も日々の療育内容を分かりやすく記録に残し、支援の検証や改善がなされるよう努めてまいります。
	23 定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		最低でも6か月以内に1度は、必ずモニタリングをおこない計画の見直しをおこなっております。	今後も保護者様、相談支援員、保育園・学校等、療育に関わる機関と連携を深めより良い支援計画の作成に取り組んでまいります。
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7		活動はさまざまな要素を通りかえり支援を行っております。	今後も基本活動を軸に、利用児童が楽しんで通所し成長できるような支援内容を計画してまいります。
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を促す力を育むための支援を行っているか。	7		児童のペースに合わせて主体的に考え、判断し、選択する力を育めるよう支援しております。	学習活動やさまざまな場面で自己決定できる機会を育成してまいります。
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		担当者会議には、児童の状況を一番把握している児童発達支援管理責任者が参加しております。	担当者会議に参加する職員は、支援に携わっている職員からの意見や、情報をもとに関係機関に情報提供ができるよう努めてまいります。
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		現在は医療的ケアが必要な児童が利用をしていないものの今後、必要になった場合、対象児がいる今後の体制を整えてまいります。	事業所は重症心身障害者以外の児童が、対象となっており、今後受け入れ希望があった場合は慎重に検討し、児童との関係機関と連携してまいります。
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		送迎時に直接担任の先生と連絡調整をおこなっております。	利用予定日や下校時刻の変更など、担任の先生と連絡調整をおこない、トラブル防止に努めています。
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7		必要に応じて、幼稚園、保育園への電話連絡や訪問をおこない、情報共有に努めよりよい支援につながるよう配慮しております。	今後も関係機関と連携して支援内容などの情報共有と相互理解を図ってまいります。
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7		幼稚園・保育所での状況も把握し、関係機関との連携を図り、進学先へ情報共有し、相互理解に努めております。	今後も関係機関と連携して支援内容などの情報共有と相互理解を図ってまいります。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイザーや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7		専門機関との情報交換や共有をしております。	他事業所等との連携が図れるように研修や連絡会など積極的に参加し、支援の向上に努めてまいります。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7		現在、交流の機会は設けておりません。	保護者様のご意向を踏まえて、交流の機会を検討してまいります。
	33 (自立支援)協議会等積極的に参加しているか。	7		外部研修への参加については、定期的に参加しております。	今後も研修や講演などの機会には積極的に参加し、職員の資質向上に努めてまいります。
	34 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		支援、関わりの中で気づいたことがあれば、保護者様に伝え共通理解を持てるようにしています。	今後も、送迎時や電話等連絡しやすい環境を整え、情報交換・共有に努めてまいります。
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族への参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7		保護者様からのお悩みやご相談内容によって電話や面談等をおこない、その状況に応じて対応しております。	今後も同様に保護者様からのお悩みを一緒に解決し、ご家族に寄り添える支援ができるよう努めてまいります。
	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		児童発達支援管理責任者が対応し、丁寧な説明をおこない、質問事項に答えられるようにしています。	契約時のみならず契約内容の変更があった場合に説明をおこなってまいります。
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや保護者の意向を確認する機会を設けているか。	7		保護者様との密な連携と情報交換は事業所と家族との信頼関係を築くうえで大切にしております。	引き続きこどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや保護者の意向を確認してまいります。
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		初回利用日までに共通計画の内容に同意していただき、署名捺印をおこない、控えをお渡しして利用を開始しております。	より分かりやすく説明をしてご理解を頂くことを目標としてまいります。
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		保護者様からの相談内容に応じてさまざまなキャリアの職員が児童に何か必要かを保護者様と一緒に考え、検討しています。	その場での返事が難しい内容は職員会議で話し合ってお対応しています。
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援を行っているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援を行っているか。	7		現在は交流の機会は設けておりません。	個人情報に留意し保護者様同士で意見や情報を交換できる場を設けられたらと考えております。
41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		苦情への対応についてご案内をしております。苦情解決のための会議も随時行えるよう役割分担をおこなっております。	社内での苦情内容の情報も事業所間で周知するよう努め、対応の参考にしております。今後も保護者様との信頼関係を大切にし連携を取り支援の内容等の質の向上に努めてまいります。	
42 定期的に通信等を行うことや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		COMPASSだよりを季刊発行しています。また、WEBサイトのブログ等で活動や児童の成長の報告もおこなっております。	ブログでの活動内容の報告や、定期的なCOMPASSだよりの発行の継続と内容の充実を図ります。また、WEBサイトのブログ等で活動や児童の成長の報告もしております。保護者様が安心して通所できる環境づくりを今後も努めてまいります。	
43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		個人情報の使用や使用後の処理、保管については細心の注意を払い、厳格な管理に努めております。	個人情報の管理については、最大限に注意を払い全職員が意識してサービスをご利用いただけるよう徹底いたします。また、ブログ等掲載の機会がある場合はその都度お知らせし、確認をおこなってまいります。	
44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		個々の特性を考慮できるように伝え方に配慮し、保護者様へは専門用語は使わず分かりやすい言葉でお伝えできるよう努めております。	相談窓口を児童発達支援管理責任者にして、保護者様の困り事、相談にスムーズに対応出来るよう心掛けてまいります。	
45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7		現在は招待等はございません。	今後も保護者様のご意向をお聞きしたうえでCOMPASSの畑でできる活動を地域住民の方々とおこなっていただけるよう検討してまいります。	
非常時等の対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		各種マニュアルを策定し、玄関にも掲示しており、防災活動や訓練しさまざまなものを想定しておこなっております。	今後もマニュアルの周知と訓練を重ね、全職員が落ち着いた行動できるように再確認してまいります。
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		定期的な非常時を想定した話し合いや訓練をおこなっております。	今後も災害時を想定した訓練を実施し、実施した内容を保護者様へ周知いたします。
	48 事前に、服装や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を把握しているか。	7		児童発達支援管理責任者が必ず責任をもって保護者様へ十分に確認をおこなっております。また、てんかん発作、エビメン等の使用の対応についても事業所内で全職員に周知し研修をしております。	今後もしっかりと保護者様と情報共有をおこない、安心してご利用いただけるような全職員の共通理解を深め、対応の速い情報を更新してまいります。
	49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		アレルギーについては初回アセスメントの際に必ず聞き取りをおこない、全職員へ周知しております。	児童の一覧表を掲示し全職員で共有をおこない、事故のないよう十分に注意してまいります。また情報は定期的に更新、確認してまいります。
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が適切に実施されているか。	7		事故防止や安全確保に関する実質的な研修、訓練をおこなっております。	引き続き安全管理に取り組み体制を構築してまいります。
	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		家族等と連携が図られることが出来るよう周知をおこなっております。	引き続き安全計画に基づく取組内容について家族等との連携が図られるよう努めてまいります。
	52 ヒヤリハット報告書はその都度、記録し全職員に共有して再発防止に努めているか。	7		ヒヤリハット報告書はその都度、記録し全職員に共有して再発防止に努めております。	引き続きヒヤリハットの事例を情報共有し全職員がヒヤリハットを意図しないよう注意し安全な仕組みづくりを取り組み、児童が安全に過ごせるよう努めてまいります。
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		感染症予防の為に外部への研修は参加できておりませんが、事業所内で資料や動画等で研修をおこなっております。	今後も事業所内での研修を継続します。また取戻後は外部研修へも参加し、保護者様が安心して通所できる環境設定、職員の育成に努めてまいります。
	54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		生命または、身体を保護するために、やむを得ず身体拘束をおこなう場合は必ず文書により同意を得るようしております。	今後も保護者様へやむを得ない状況に限っておこなわれることについて十分に説明をおこない、同意を得たうえで個別支援計画にも記載してまいります。

〇この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体でおこなった自己評価です。